

## 全国精神保健福祉会連合会 2023 年度事業計画

はじめに

2020 年 1 月 31 日未明に WHO（世界保健機関）から、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大による緊急事態宣言が出されてから 3 年が経過しました。徐々に世界がコロナ以前の生活を取り戻す方向に動き始めています。この間、人と人とが触れ合う行動を制限されてきたために、私たち家族会の活動も大きな影響を受けざるを得ませんでした。しかし、そのような中でも、オンラインシステムの活用などに積極的に取り組み、これまでとは違う形で、人と人とが出会い語り合うという経験をしてきました。

今年度は、感染症の状況を注視しながらも、これまで培ったオンラインシステムの活用を継続しつつ、人と人とがリアルに会って語り合う機会を増やし、行動していく方向へと舵を切っていく必要があります。全国で活動する家族会の現状を把握するためにも各地を相互に訪問し合い、顔と顔の見える関係性の中で連携を深め、今何が必要で何ができるのか…家族会活動のこれからを共に考えていきたいと考えます。

また、昨年 8 月には国連障害者権利委員会の初めての日本審査が行われ、日本の障害者政策への勧告が出されました。その中には精神障害者政策に関する厳しい勧告が含まれています。私たち精神障害者家族が抱える日々の現状を改善するとともに、世界という大きな視野から、精神障害がある人とその家族が置かれた日本の現状を冷静に捉えて、変えるべきことを変えていくことにも取り組んでいかなければなりません。その活動の中心には、多くの会員の声を集約した「みんなねっと精神保健医療福祉への提言」を据え、その具体的な実現に向けて前進していきましょう。

このような活動を推進していくため、以下の計画を提示します。

### 1 本事業計画の趣旨

- ・精神障がい者と家族の願い実現のために「精神保健医療福祉へのみんなねっとからの提言（略称：みんなねっと提言）」をもとに国連障害者権利条約（総括所見）を学びながら精神保健医療福祉改革を広く訴えていく。
- ・オンラインシステムの有効利用を継続しつつ、リアルな交流や都道府県連合会への対応にも重点を置いた活性化をすすめる。
- ・多様な立場の家族との連帯と活動の連携・充実および会員拡大

### 【2023 年度重点課題】

- ・[みんなねっと提言]と障害者権利条約をもとに精神保健医療福祉諸政策の改革を訴える（交通運賃割引 P J のみならず医療費助成制度等の実現部門の検討を含む）
- ・オンラインシステムの構築と積極的な活用
- ・都道府県連合会への訪問（16 カ所：8 ブロック各 2 県連）
- ・家族と障がい者本人の体験的知識としての蓄積のための企画具体化。

## 2 基本構想（ビジョン）

- 1) 家族本人の願い・思いである「みんなねっと提言」を全正会員で実現を目指す
- 2) 法人運営の安定した活動を維持するため、正会員の組織活性化
- 3) みんなねっとの存在意義を示すための体験的知識の蓄積体制を整える

### 2-1) 家族本人の願い・思いである「みんなねっと提言」を全正会員が広く告知し、その実現を目指す

#### ①課題別要求のとりくみ

- ・「みんなねっとと精神保健医療福祉への提言」の冊子作成と配布
- ・障害者政策への要望反映
- ・関係当局開催の会議・審議会への参加協力及び情報発信と集約
- ・精神障害者への公共交通運賃の割引制度の実現（省庁および国会の場での働き掛け推進）
- ・重度障害者医療費助成制度の適用推進（2級までの拡大を視野に）
- ・教育課題は特に高校での授業内容の把握に努め、授業充実のために積極的に働きかける

#### ②調査研究事業

- ・体験的知的の蓄積のための情報収集（月刊みんなねっとはじめ、各都道府県連合会会報などの保存・保管とデータの蓄積状況を把握。集積の検討。

#### ③ピアサポート事業（家族会活動の育成強化）

- ・都道府県連合会支援（みんなねっと事務局より派遣）
- ・家族学習会のアドバイザー、担当者の養成：【JKA 補助事業】
- ・地域家族会による「家族による家族学習会」等のオンライン支援、およびブロック圏域での実施方針の再確認と推進
- ・電話等相談の実施
- ・WEB 会員向けコンテンツの拡充（オンライン交流会など）

#### ④研修事業

- ・みんなねっとフォーラム
- ・ブロック研修会、全国大会（オンライン併用など積極的な検討、助成金の確保）

### 2-2) 法人運営の安定した活動を維持するため、正会員の組織活性化

- ①法人の持続運営のための全組織的な会員拡大
- ②ブロック担当理事を通じた都道府県連合会の集約と交流（WEB 会議の積極的活用）
- ③都道府県連合会支援（みんなねっと事務局より派遣） 山口県連再建支援

### 2-3) 多様な家族・市民にとって、みんなねっとの存在意義を示すための体験的知識の蓄積体制を整える

#### ①広報啓発活動

- ・月刊みんなねっと誌の発行および電子版発行の具体化

- ・編集委員会体制の強化（委員交代、補充含む）
- ・メルマガ・SNS、ホームページ、みんなねっとサロンの連動した展開
- ・みんなねっとブックレット新刊企画・監修・発行
- ・マスコミなど広報媒体への発信

#### ②情報アーカイブの活用運用の検討

- ・各種資料等の蓄積を行うため、調査研究事業で保存・保管とデータの蓄積状況を把握する。  
この結果を踏まえながら各事業の材料資料として活用・運用の在り方を定め、(仮)情報アーカイブの開設を目指す。
- ・情報ライブラリーとの連携・融合の検討。

#### ③他団体等との連携

- ・日本障害者フォーラム（JDF）を通じての障害者権利条約日本勧告に係る国際的な視点からの協働
- ・関係諸団体などとの積極的な連携と共催事業の検討・実施

#### ④倫理審査会等の部門体制の検討

### 3 組織と事業内容

#### 3-1) 機関組織

1 総 会	定例年1回 6月16日(金)
2 理 事 会	定例年3回 5月24日, 10月25日, 3月13日
3 理 事 懇 談 会	随 時 開 催 目安8月12月
4 代表理事会(打合せ)	月2回以上
5 法 人 内 監 査	5月中旬

#### 3-2) 各委員会等

委員会名等	構成員
JR など交通運賃割引 推進プロジェクトチーム	座長：新銀輝子、プロジェクト事務局長：奥田和男 近畿ブロック役員、参加希望都道府県連 事務局：小幡
政策委員会	委員長： <u>木全義治</u> 書記長： <u>野村忠良</u> 事務局： <u>小幡・高村 福田正人、藤井千代、長谷川利夫、横山恵子、堀合悠一郎、 眞壁博美、岡田久実子、赤池千明、横山朋子、小幡恭弘</u> <u>(下線 WG メンバー兼務)</u>
月刊みんなねっと編集委員会 (下期の委員交代を視野に補充)	委員長：赤池千明 飯塚壽美、菅原かほる、橋口亜希子、桶谷肇 協力員：野村忠良、編集業者：萌文社（安納）、 事務局：高村裕子、佐瀬望
家族学習会企画 プロジェクト委員会	委員長：飯塚壽美 伊藤さえ子・岡田久実子・桶谷肇・酒井佳永・

	佐藤美樹子・島袋照美・杉本富太郎・隅谷和生・ 徳久照道・中越由美子・永野昭二・貫井信夫・ 野田敏夫・原晴美・半澤真澄・前田直・守谷栄二・ 横山恵子・吉澤智子 協力委員：天川智子・井汲悦子・伊藤順一郎・大島巖・ 蔭山正子・柏木彰・倉澤政江・小林清香・鈴木裕子・ 高森信子・中村由嘉子・二宮史織 事務局：高村裕子、松本まゆみ
--	---

- ・「みんなねっとフォーラム」および「調査事業」は事務局にて対応する
- ・提言実現に関わる分野別部門の検討
- ・学会倫理審査会について特命業務かは理事会検討とする

### 3-3) 行政当局・公共団体等の役割受任

当会の目的を達成するためにも、行政当局等への参加と、関係機関・団体への協力を推進する（下記は現時点主な受任を示す \*印は岡田理事長 記載なしは小幡事務局長）

- ① 内閣府障害者政策委員会\*
- ② 厚生労働省 社会保障審議会障害者部会\*
- ③ 厚生労働省 労働政策審議会障害者雇用分科会（新銀理事）
- ④ 厚生労働省 精神科医療における行動制限の最小化に関する調査研究検討会\*
- ⑤ 厚生労働省  
第1回市町村における精神保健に係る相談支援体制整備の推進に関する検討チーム\*
- ⑥ 厚生労働省 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業\*
- ⑦ 厚生労働省 障害者総合福祉推進事業補助金 当事者活動実態調査(みずほりサーチ)\*
- ⑧ 国土交通省  
高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準に関するフォローアップ会議
- ⑨ 国土交通省 道路空間のユニバーサルデザインを考える懇談会
- ⑩ 国土交通省 当事者目線にたった評価指標プレ調査
- ⑪ 国土交通省 車椅子利用者用駐車施設等の適正利用に関する  
指針（ガイドライン）作成に係る意見交換会
- ⑫ 国土交通省 道路空間のユニバーサルデザインを考える懇談会
- ⑬ 消費者庁 高齢障害者・障がい消費者見守りネットワーク連絡協議会
- ⑭ 全社協地域福祉部地域福祉権利擁護に関する検討委員会（赤池副理事長）
- ⑮ 中央障害者社会参加推進協議会(赤池副理事長)
- ⑯ 独法) 高齢・障害・求職者雇用支援機構障害者職業総合センター  
障害のある労働者の職業サイクルに関する調査研究委員会
- ⑰ 独法) 高齢・障害・求職者雇用支援機構全国障害者技能競技大会競技委員会
- ⑱ 独法) 高齢・障害・求職者雇用支援機構評議員（赤池副理事長）

- ⑲ 日本障害者フォーラム (JDF) : 代表者会 \*
  - ⑳ 日本障害者フォーラム (JDF) : 幹事会・条約推進委員会
  - ㉑ 自由民主党ユニバーサル社会推進議員連盟 \*
  - ㉒ 自由民主党政務調査会障害児者問題調査会 \*
  - ㉓ 公明党障がい者福祉委員会 \*
  - ㉔ 国際障害者交流センター運営協議会 (倉町前理事: 次期新銀理事予定)
  - ㉕ 立命館大学 医療・ヘルスケア領域における ELSI の歴史的 analysis とアーカイブズ構築
- 他 パルティスファーマ、ルントベックジャパン、住友ファーマ、武田製薬ほかヒヤリング・意見交換等

#### 4 法人事業 (当会定款に定める事業) \* 複数の事業にまたがるものも便宜的区分した

##### 1 精神保健福祉の向上に資するための社会啓発・広報事業

- ・月刊みんなねっと、メルマガ発行など
- ・コミュニティーサイト (みんなねっとサロン) の運営
- ・みんなねっとブックレットの監修・発行

##### 2 精神障がい者とその家族に対する支援事業 (ピアサポート)

- ・電話相談事業 毎週水曜日 10~15 時
- ・みんなねっとサロンと連動した情報提供
- ・家族相談員養成 e ラーニングの普及
- ・オンライン交流会の開催 (WEB 会員向け)
- ・家族ピア活動支援事業

訪問カ所数: 16 か所 (全国 8 ブロックのうち、各 1~2 県連)

今年度は特に取り組みの必要な県に訪問し、状況把握、交流会の開催をおこなう

コロナ禍で休会してしまっている家族会の復活、新規家族会員の増加

- ・家族による家族学習会の開催

#### 【JKA 補助】

- ・家族支援ピアサポートセミナーの開催 (プログラムの普及についての研修会)
- ・家族学習会ファシリテーター (担当者 or アドバイザー) の養成・フォローアップ (プログラムの実施および質を担保する仕組み)
- ・アドバイザー派遣事業
- ・家族学習会企画委員会の開催

##### 3 精神障がい者の社会参加を推進するための調査・研究事業

- ・知的経験の蓄積に関する資料等の把握調査

都道府県連合会の所有する単会・県連の会報や全家連やみんなねっと関連資料の有無などを把握する。

#### 4 家族会活動の育成強化及び当事者活動の支援を図る事業

- ・全国大会・ブロック研修会（主催各都道府県連合会 共催全国精神保健福祉会連合会）
  - i 北海道・東北、ii 北信越、iii 関東（兼全国大会）、iv 甲州・東海、v 近畿、vi 中国、vii 四国、viii 九州・沖縄

・当事者団体のとりくみへの積極的な参加と障がい当事者性を求められる受任案件等に関する積極的な当事者との連携

#### 5 関係機関・団体との連絡調整に関する事業

- ・行政当局・公共団体等の役割受任
- ・みんなねっとフォーラム

#### 6 その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

- ・諸要求実現に向けたとりくみ
- ・全国大会「第15回全国精神保健福祉家族大会兼関東ブロック研修会（埼玉）」の開催
- ・山口県の組織再建支援

### 組織図

公益社団法人全国精神保健福祉会連合会組織図(2023年度)

